

杉並農人

Suginami Nōjin

第18号



杉並の農家が輝いている。

新鮮で安心して食べられる減農薬・無農薬の野菜。

日々の生活をいろどる花々。

都市空間に広がる農の風景は人々の心を癒します。

杉並には、地元を豊かにし、街に潤いを届けている農業者がいます。

即売会や畑の直売所で、採れたての農産物を販売し、

子どもたちには、学校給食や社会科見学を通して

食や農の大切さを伝えています。

区民に寄り添い、がんばる杉並の農業者を

“杉並農人”と呼び、紹介します。



杉並区の農業 DATA

●農家戸数：127戸

※令和3年4月1日現在

●農地面積：38.61ヘクタール (386,100㎡)

※令和3年4月1日現在

※農地のある区部11区で5番目の農地面積

※野菜・果樹の他、植木・切り花等の栽培も多い

●野菜の生産量ベスト3

1位 トマト …… 87トン

2位 ダイコン …… 81トン

3位 ナス …… 76トン

●果物の生産量ベスト3

1位 カキ …… 11トン

2位 キウイフルーツ 5トン

2位 クリ …… 5トン

東京都農業会議「区市町村別農業データブック(令和2年度)」より

二人のアイデア生かし、美味しい野菜をつくりたい

協力しあって、豊かな味わいの野菜を供給

大石泰史さん、由子さん夫妻は、宮前4丁目の野菜農家だ。住宅街の中に広がる畑で四季折々の農産物を地域に供給している。美しい竹林に囲まれた畑には、青々とした葉物野菜、みずみずしいカブやダイコンが育っていた。

「主な出荷先はJAの直売所であるファーマーズマーケット荻窪です。加えて令和3年に杉並区の事業を利用して、井ノ頭通り沿いにコインロッカー式の直売所を設置しました」と泰史さん。旬のコマツナ、無農薬レモン、西洋カボチャのバターナッツなど、由さんと一緒に手際よく陳列してゆく。「区内で蕎麦屋を営む親せきから、カツオやサバの出汁ガラを分けてもらってたい肥にするなど、土づくりを工夫しているんですよ」。いただ

いたコマツナをおひたしにして試食すると、しっかりと肉厚で柔らかい葉は野菜本来の甘さで、実に豊かな味わい。ジャガイモやハーブ類は、近所で弟夫妻が営むカフェにも提供しているそうだ。

夫婦で杉並区認定農業者に

二人は大手電機メーカーの同僚時代に出合った。結婚と同時期に、泰史さんはこの地で代々続く農家の10代目として32歳で就農。「退職後、ファイナンシャル・アドバイザーの勉強をしていたこともあり、当初、農業は手伝い程度。しかし8年前に父の跡を継ぐ段階で、もっと農業の知識がほしいと痛感しました」。そんな泰史さんにとって、短大で醸造学を学び、農や食に高い関心を持つ由さんは、まさにベスト・パートナー。二人三脚で試行錯誤しながら、美味しい野菜づくりを追求する日々



大石 泰史

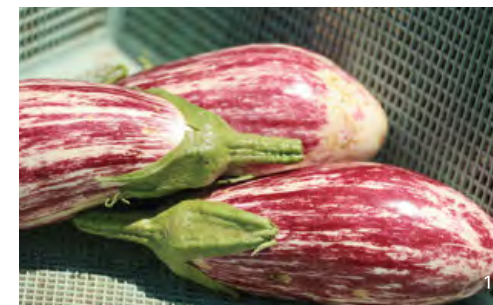
昭和39年生まれ。杉並区宮前で江戸時代から続く農家の10代目。約10年間の大手電機メーカー勤務を経て、32歳で就農。約17.2アール(1,720㎡)の農地で、環境に配慮しながら、年間約30種類の野菜やかんきつ類を育てる。JA東京中央城西地区青壮年部・副部長。杉並区認定農業者。

大石 由子

東京都出身。夫・泰史さんとともに、平成30年「すぎなみ・なかの農業塾」第一期生として農業技術を学ぶ。令和元年、野菜ソムリエの資格を取得。杉並区認定農業者。

直売所／杉並区宮前4-27-19

※コインロッカー式の自販機を設置(百円玉使用)
※販売中は「直売 杉並農産物」のぼり旗を立てます。



1. 野菜ソムリエの由子さんおすすめの色鮮やかなゼブラナス。

2. 持続可能な農業を目指しソーラーパネルをハウスの電源に使用。電機メーカー勤務時の技術を生かし、泰史さんが設置した。

の中、平成30年にはJA東京中央が主催する「すぎなみ・なかの農業塾」(p.5で特集)に入塾し、先輩農家から実践的に教える機会を得た。「夫の後ろから見学していたら、「由子さんと一緒にやってみたら」と誘っていただいて。トマトやナスの支柱の立て方、コンパニオンプランツ(※)や防虫ネットの活用で農薬使用を抑える手法など本当に勉強になりました。何より周りの農家の皆さんとお付き合いの輪が広がったことが財産です」と実感を込めて話す。令和元年12月には区内で初めて、夫婦で杉並区認定農業者に認定された。

お互いのアイデアを大切にしながら

「八王子市の山奥で自然に囲まれて育ったので、子ども達と泥んこになって畑で過ごせる環境がうれしかったです」と由子さん。3人のお子さんは大学生、高校生に

なった今でも畑が大好きで、折に触れ農作業を手伝ってくれるそうだ。泰史さんは「貴重なみどりの空間でもある農地を未来に残していきたいと、より強く思うようになりました」と語る。これまでお互いのアイデアを大切にしながら、二人で協力して新しいことに取り組んできた。「野菜ソムリエの資格を取って、カラーピーマンや香りのよいニンニク、サラダ向けのカラフルな野菜づくりにチャレンジする妻に、消費者の視点をもつ大切さを教えてもらっています」という泰史さんに「ソーラーパネルを設置したり、近隣に配慮して農薬を減らす努力を続けたり、頼もしい夫を尊敬しています」と語りかける由子さん。「ひとりでは農業をできなかった」と、顔を見合わせて微笑んだ。

※コンパニオン・プランツ…一緒に植えると病害虫の防除や生育促進の効果がある組み合わせの植物(例:ナスとマリーゴールド等)

農業を未来へつなぐために。

すぎなみ・なかの農業塾

「すぎなみ・なかの農業塾」は、経験の浅い農業者の栽培技術向上を目的に、東京中央農業協同組合（JA東京中央）が設置した「農業を学ぶ塾」です。杉並区・中野区内の農業後継者などを対象に平成30年3月に開設されました。

履修期間は2年間。野菜や花卉（かき）など幅広い作物の栽培について、圃場での実習を中心に基礎知識・技術の講座を設けるほか、講師が塾生の圃場を巡回して土壌診断や実践的な助言・指導を行います。同時に先進的な農業事例の研修なども実施しています。



講師を務めるのは優れた農業技術を有する地元の農家さん。

JA東京中央の職員や東京都農業改良普及センター職員も同席し、情報共有を図っています。経験豊かなベテラン農家さんから栽培技術を学びながら、塾生同士が交流を深められるのも農業塾の魅力であり、地域の農業全体の活性化を図り、継続的な発展を支援する取組でもあります。

4年前の開設以来、卒業生は10名を数え、修了後も次期農業塾への参加や卒業生向けの勉強会などを開催しています。

JAでは今後、これまでカリキュラムになかった農機講習などの新たな講義も企画しており、農業塾をさらに充実した実践的学びの場として活用する意向です。



農家講師紹介

塾生は皆、真剣そのもの。実習だけでは習得できないことも多いので、その後の相談にも快く応じています。（小野さん）

ご夫婦での参加者に、「力が弱くても扱える切り花は、女性のセンスが生かせるビジネス。区内で扱う農家も少ないので挑戦しては」と提案しました。（田原さん）



第二期講師 倉本さん

第一期講師 中村さん

第一期講師 小野さん

第一期講師 坂井さん

第一期講師 田原さん

※今回ご紹介したのは、農家講師のうち一部の方々です。



杉並産の野菜を食べてみたいと思ったら!

杉並産野菜は農家の直売所のほか即売会などでご購入いただけます。ぜひ足を運んでみてください。



新着ニュース 「すぎなみ野菜マルシェ in すぎのこ農園」定期開催決定!

4月9日(土)スタート!

場所 農福連携農園すぎのこ農園(井草3-19-23)
開催日 毎月第2土曜日 午前10時~正午(売切れ次第終了)

問合せ先 すぎのこ農園管理事務所
TEL.03-5303-9835

| 開催日 | イベント名 | 場所 | 販売農産物 | 問合せ先 |
|-------------------|--------------------|---|----------|-----------------------------------|
| 毎週火曜日 | JA東京中央 杉並中野支店即売会 | JA東京中央 杉並中野支店 (桃井2-3-4) | 野菜・草花 | JA東京中央 杉並中野支店 TEL.03-3399-8983 |
| 毎週木曜日 | JA東京中央 城西マルシェ | JA東京中央 城西支店 (成田東5-18-7) | 野菜 | JA東京中央 城西支店 TEL.03-3392-7271 |
| 毎週木曜日 | JA東京中央 高井戸マルシェ | JA東京中央 高井戸支店 (高井戸東3-22-11) | 野菜 | JA東京中央 高井戸支店 TEL.03-3331-5181 |
| 毎月第3土曜日 | 座の市 | 座・高円寺 (高円寺北2-1-2) | 野菜 | 座・高円寺 TEL.03-3223-7500 |
| 4月8日(金) | 春の即売会 | 杉並区役所本庁舎 青梅街道側広場・中杉通り側入り口前 (阿佐谷南1-15-1) | 野菜・草花 植木 | 産業振興センター都市農業係 TEL.03-5347-9136 |
| 5月3日(祝・火)~5日(祝・木) | 大宮八幡わかば祭り | 大宮八幡宮 (大宮2-3-1) | 草花・植木 | 大宮八幡宮 TEL.03-3311-0105 |
| 5月21日(土) | 花と緑の井草まつり | 井草森公園 (井草4-12-1) | 野菜・草花 | 東京商工会議所杉並支部 TEL.03-3220-1211 |
| 6月12日(日) | 産業マルシェ | 産業商工会館 (阿佐谷南3-2-19) | 野菜 | 産業商工会館 TEL.03-3393-1501 |
| 6月下旬(土・日) 予定 | グリーンマーケット | 阿佐ヶ谷神明宮 (阿佐谷北1-25-5) | 野菜・植木 | 阿佐ヶ谷神明宮 TEL.03-3330-4824 |
| 6月下旬~7月 予定 | JA東京中央 井荻マルシェ | JA東京中央 井荻支店 (今川1-17-15) | 野菜・草花 | JA東京中央 井荻支店 TEL.03-3395-3361 |
| 6月下旬(金) 予定 | JA東京中央 杉並中野生産部会即売会 | 杉並区役所本庁舎 中杉通り側入り口前 (阿佐谷南1-15-1) | 野菜・草花 | JA東京中央 杉並事業所 TEL.03-5349-8792 |
| 7月上旬~中旬(金) 予定 | JA東京中央 城西生産部会即売会 | 杉並区役所本庁舎 中杉通り側入り口前 (阿佐谷南1-15-1) | 野菜・草花 | JA東京中央 杉並事業所 TEL.03-5349-8792 |
| 7月上旬~中旬(金) 予定 | 杉並区グリーンクラブ即売会 | 杉並区役所本庁舎 中杉通り側入り口前 (阿佐谷南1-15-1) | 野菜・草花 | 産業振興センター都市農業係 TEL.03-5347-9136 |
| 7月下旬(日) 予定 | 福祉会館夏まつり | 杉並障害者福祉会館 (高井戸東4-10-5) | 野菜・草花 | 杉並障害者福祉会館 TEL.03-3332-6121 |

※上記以外にも即売会の開催予定があります。詳細については「広報すぎなみ」紙面や杉並区公式ホームページにて情報をご確認ください。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況や天候等の事情により中止や変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

常設直売所

ファーマーズマーケット 荻窪
新鮮な野菜・草花のほかに加工食品も扱っています。

場所 阿佐谷南3-13-2
TEL.03-5349-8791

営業時間 10:00~16:30
定休日 日曜・月曜・祝日・年末年始



杉並農人 第18号

2022年3月

企画：杉並区

制作：NPO法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー

協力：杉並区農業者（JA東京中央城西生産部会、JA東京中央城西地区青壮年部、JA東京中央杉並中野生産部会、JA東京中央杉並中野地区青壮年部、
井草園芸研究会、高井戸花卉研究会、杉並区グリーンクラブ）、JA東京中央、杉並区民の皆さん

◎お問い合わせ

杉並区産業振興センター都市農業係 〒167-0043 杉並区上荻一丁目 2-1 Daiwa 荻窪タワー2F TEL：03-5347-9136

参考：杉並区発行「ふれあい農業すぎなみ 農産物直販マップ 2021」

※杉並区 HP でも公開しています。「直販マップ」で検索してみてください。